寫眞週報

情報局編輯

三月卅一日・第二百六十五號・十セン

昭和十三年二月十二日 第三種郵便物認可 昭和十八年三月卅一日發行（毎週一回水曜日發行） 第二百六十五號

校門は營門に通じてゐる
學生生徒の生活もそのまゝが
戰ふ國家の一分野
逞しい上にも逞しく
若い力と意志とを捧げて
必勝の道を驀進しよう

「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい

東條總理南京を訪問

撮影　支那派遣軍報道部

東條內閣總理大臣兼陸軍大臣は昨年十二月の汪主席訪日に對する答禮並びに參戰中國に敬意を表し、さらに米英撃滅の日華協力に關し國民政府首腦部と隔意なき意見を交換するため、佐藤陸軍軍務局長らを帶同して三月十二日東京出發、十三日南京に到着し、汪主席以下國府要路者と會見、上海に一泊、十五日訪支目的を完全に果して歸國した

總理大臣が外國を訪問しその元首と要談したことはわが有史以來のことであり殊に今回總理の南京訪問は中國の參戰に引つゞき公表された租界返還、治外法權撤廢などの對支政策上、劃期的な時機になされただけ、日華一體關係をいよいよ緊密強化されるとともに重慶をはじめ敵米英陣營にあたへた影響は極めて甚大なものがあつたといへよう

⇧南京飛行場に汪主席の出迎へをうけた東條總理は主席の紹介で陳公博、温宗堯、周佛海の諸氏をはじめ國府高官と順次和やかな握手を交した

⇩國府大禮堂に開かれた汪主席の歡迎宴に臨んで挨拶する東條總理　右から二人目、重光大使、東條總理、畑總司令官、佐藤軍務局長、汪主席

アジア歴史資料センター Japan Center for Asian Historical Records

日華兩國軍聯合攻防演習

三月十日

—南京—

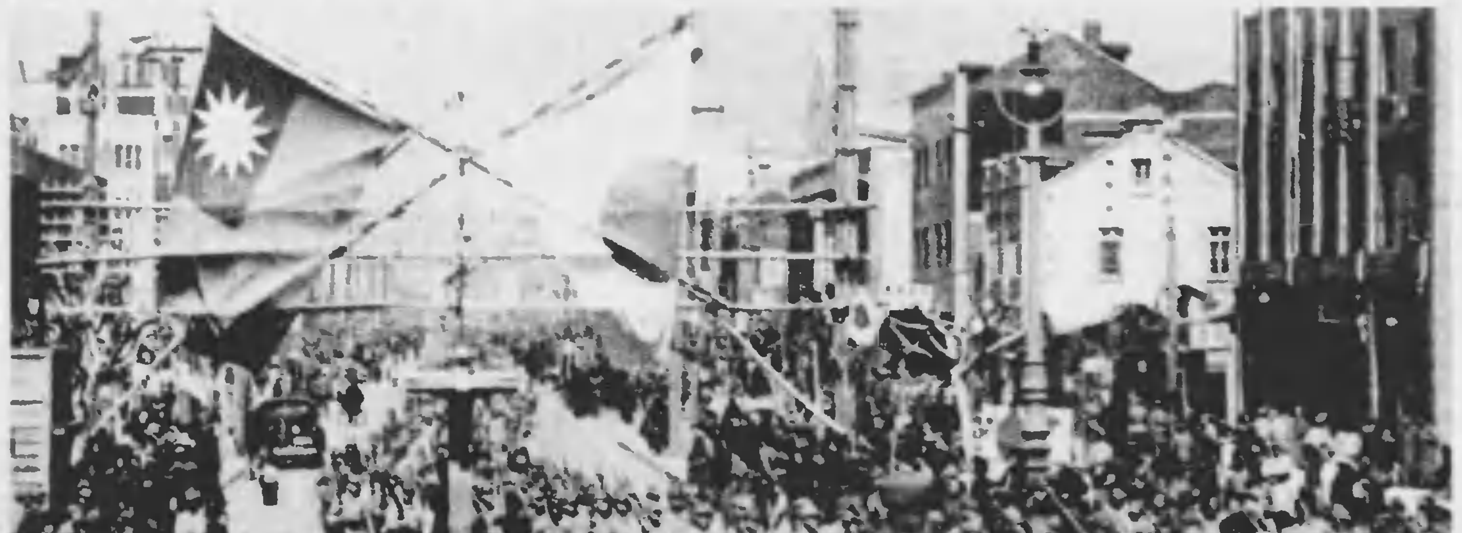
⇨攻防戰いよ〳〵酣、兩軍必死の激戰だ

⇦參觀する汪主席、畑總司令官及び在華外國武官たち

三月十日の陸軍記念日、新中國の首都南京では日華兩國軍聯合の大攻防演習が行はれた。この日、わが派遣軍と參戰中國軍とは、早朝より清涼山を中心に實戰さながらの攻防戰を展開、汪主席、畑總司令官の觀戰下に、兩軍一體、協同作戰の妙を遺憾なく發揮し、「米英擊滅、保衛東亞」の士氣いよ〳〵高いものがあつた

撮影　支那派遣軍報道部

⇦戰ひ終つて野宴の席に舌鼓を打つ兩軍の將兵たち



⇦熱狂する市民の歡呼をうけて堂々市中を行進するわが〇〇部隊

北支

北支では十日の當日、十万邦人の決意も固く北京東單練兵場に、郷軍、婦人會、青少年學徒約二万が參集、奉祝式典を擧行したが、式終るや直ちに郷軍の壮烈な攻防演習、婦人會の救護演習が行はれた

⇩派遣部隊の閲兵をする天津防衛司令官

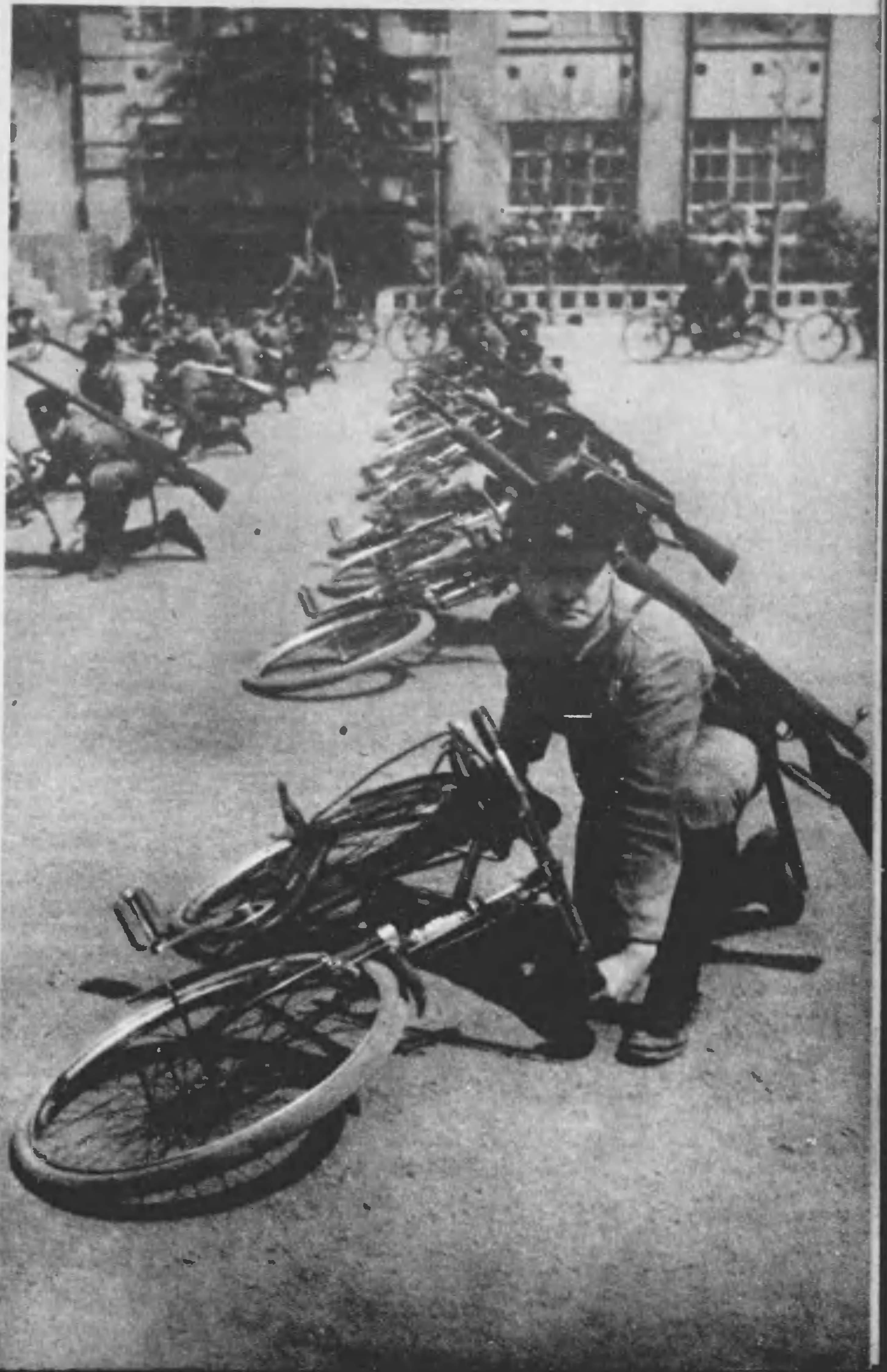
撮影　北支軍報道部

⇦東單練兵場における婦人會の救護演習を視察する田中部隊長

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

中等学校はどう生れ変る

中學校



⇨マライの銀輪部隊につゞく若い學徒の國防競技訓練

⇧學校は戰ふ日本國民の道場である。朝禮の鐘の音に閉ぢる默想のひととき

五年間の課程を四年間に。短縮する生徒の面には必死となつて學問のなかに切り込む氣魄が見られる⇩

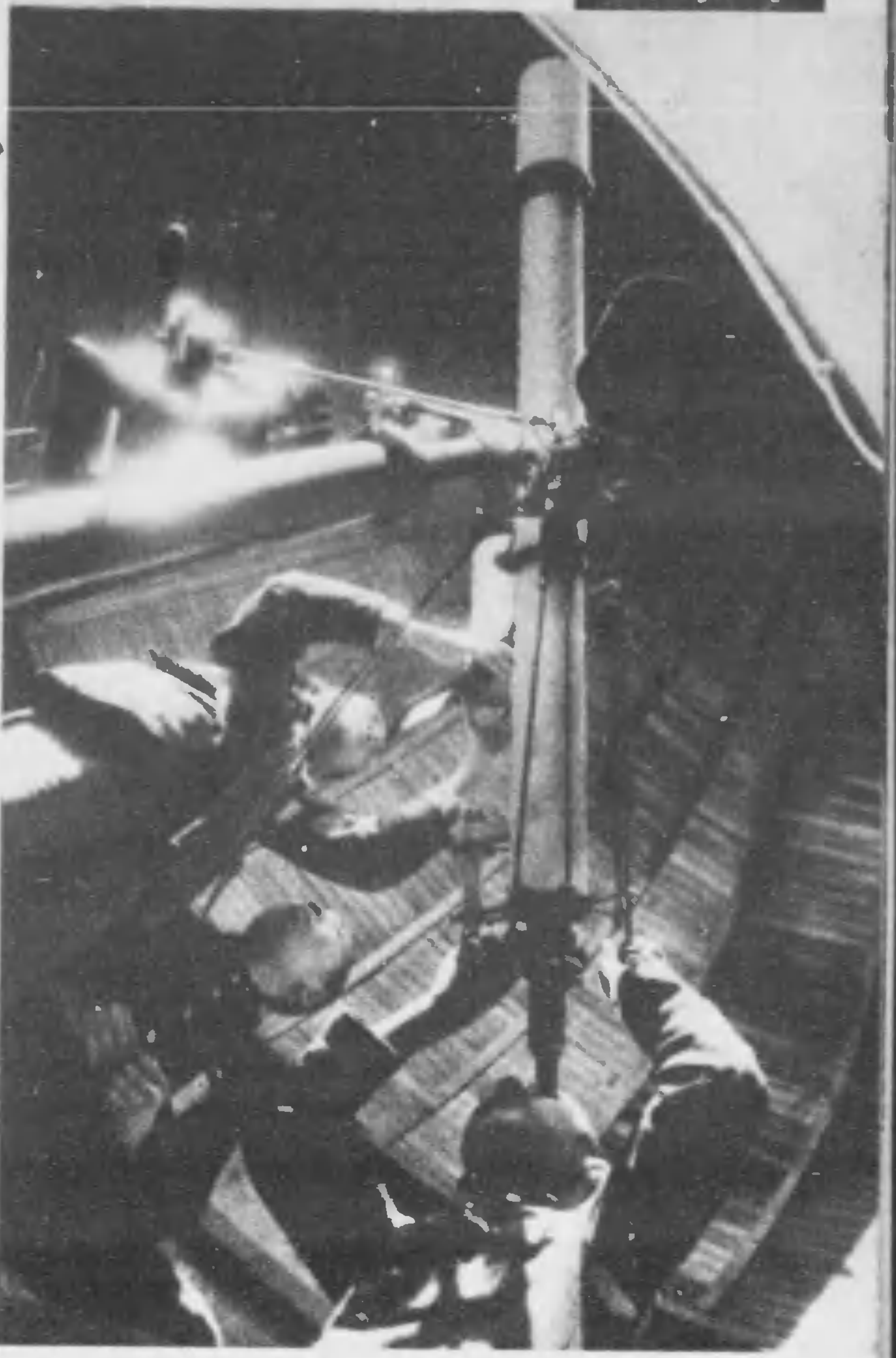
お坊ちやん教育を一擲して、戰火のなかに打てば響く鐵の若人を鍛へ上げようと、中學校はいま一齊に新制度へ飛躍することになつた。こゝに中心となる二、三の科目を通じて、生れかはる中學校の教室を覗いてみよう

東京府立第六中學校
第一東京市立中學校

數學の時間、測量板をもち出して運動場一杯に活躍する測量技師の卵たち⇩

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

中學校



⊃ 定時休憩の時間を利用して[illegible]の眞劍な研究報告が練られてゆく

⊂ 武道に實戰的息吹きを通はせて、銃劍を室內から野外にもち出した銃劍道の訓練

⊃ コレヒドール島要塞の攻略圖を圍んで作戰を練る若い參謀たち　本職も立派な戰術である。大學の研究室にゐる兄さんを先頭に例の運動がはじまつた

中等學校はどう生れ變る

大東亞戰爭を勝ち拔くにふさはしいわが青年教育體制の一環として、中學校、高等女學校、實業學校もいよ／＼この四月から新らしい制度のもとに師弟一丸、戰ふ中等學校として逞しく發足します

こんどの改正は、これまで西洋流を眞似てゐた知識注入の誤つた學問の考へ方を改めて、大東亞の指導國家としての日本教學を確立し、眞に中堅となる有爲な皇國民を錬成すると同時に、戰ふ國家の要請にこたへるため、若い力を一日も早く實務に動員すべく斷行されたものでした

從つて中等學校の新制度では、『**皇國の道に則る國民錬成**』といふ一貫した教育目的のもとに、國民學校で出來上つた仕組をさらに發展させて、新らしく教科の體系を樹て、この教科の仕組に應じて、學科課程を重點的に編成し、別に修練の課程を加へて學行一體の錬成を積ませることを眼目としてゐます

即ち、教科については、これまでのやうな學科目の羅列主義を廢めて、先づ**中學校**では**國民科**、**理數科**、**體錬科**、**藝能科**の四科目を中心に、これを補ふものとして**實業科**、**外國語科**の二科目を設け、また**高等女學校**では**家政科**が大切な教科としてこれ以外に設けられ、この新らしい構想のもとに、さらに中學校、高等女學校を通じて、大東亞共榮圈に關するものや國防に關するものから教材が採り入れられ、新らしく修練の課程が設けられたのです

修練は、教科がどちらかといへば學的であるのに對して、これは行的の全く新らしいものであつて、通學の往復、當番勤務、機甲訓練、勤勞作業をはじめ、茶、華道の研究、家庭での起居動作などを通じて行ひ、これによつて學校內外の生活一切を錬成のために歸せしめようとするもので、この修練こそ一面、新制中等學校の性格を物語るものとして最も注目すべきものといへませう

次ぎに新らしく組立てられた教科の內容と、その取扱ひ方についてみると、**新制中等學校**では原則として國定教科書を採用し

一、**國民科**では修身、國語、地理、歷史の四科目に互に繫がりを保たせながら、これまでのやうな暗記詰め込み主義を排して、各科目を一體として身につけさせる

高等女學校

⊐ イヤーッ、トウー紅屑を衝いて迸る裂帛の氣合に、皇國女性の面目まさに躍如…

校には將來の日本國民を生み育むべきよき母、積には皇國の基である家を守るべきよき主婦――女性の新らしい任務は明らかにされた

こゝに重視される二、三の科目を通じて前進する新らしい女學校教育のあり方をたづねてみよう

東京府立高等家政女學校

高等女學校

神を敬ひ祖先を崇める[illegible]今日最も必要な倫理[illegible]ここにある

工作は簡單な装置を[illegible]實用を主に、[illegible]豊かな戰時色が織り込まれる

被服では仙臺平の袴の代りに時局に即したモンペや標準服の裁ち方を教へる

育兒では乳幼兒の健全な育て方を理論ばかりでなく附屬の保育園等で實習させる

一、**理數科**では數學、物象、生物の三科目にわたつて實驗觀察に重點を置き、科學的な考へ方、處理の力を與へる

一、**體練科**では教練、體操、武道の三科目を通じて、剛健不撓の若人を育成し、國防能力の飛躍的充實を企てた

一、**藝能科**では音樂、書道、圖畫、工作の四科目とし、これまでの技術本位の教育を檢討して心技一如の修練を積ませ、併せて正しい鑑賞力を養はせる

一、**實業科**では農業、工業、商業、水産のうち一科目または二科目以上を課し、皇國獨自の勤勞觀を植ゑつけるが、第三學年以上では外國語との組合せにおいて兩者のうちいづれかを選擇させる

一、**外國語科**では主として外國事情の正しい認識といふ見地から英語、獨語、佛語、支那語、マライ語その他のうち一を履修させる。但し中學校では第三學年以上で、高等女學校では全學年でこれを選擇履修とした

一、**家政科**は新らしい女子中等教育の中心をなすもので、日本婦道の確立といふ點が強調され、この立場から、わが國傳統の家の本義を明らかにして、家庭での實務習得に力を注ぐ

このほか施設として寄宿舍、農場、實習地、高等女學校の場合は幼稚園、託兒所を設けることが定められたなど、新規の教育内容ははからして全體的に簡素で充實されたものとなり、この結果として、年限短縮といふよりも、むしろ新たに力ある**四年制**の中等學校が誕生するに至つたのです

保健では食物の科學的研究を通じてお臺所經濟の國家性を植ゑつける

少し見劣る材料でも價値のある料理を、野草も戰ふお臺所の食膳へ登場する

[illegible]家計の經濟生活を[illegible]

新制中等學校の教育は、以上のやうに『皇國の道に則る國民錬成』といふ目的をもつて一貫されてゐますが、これはいままでの教育思想からいふと、相當大きい變化であつて、從來の教育がいはゆる教授並びに訓育といふ教育の分析的な考へ方に立つてゐたのに對して、これは道、錬成、人物といふ綜合的なものを根本目標としてをり、教育に對する考へ方からいつても、その方法からいつても、こゝにわが中等教育はその性格を全く一變したわけです

しかし、問題はこんどの改正によつてその歸一するところを明らかにされた新らしい中等學校教育が、今後の運營によつて果してこの日本教學の本義に徹するか否かにあるのであつて、この根本に立ち還ることがないとしたら、制度改革の方策もたゞ外面を變へただけにとゞまり、今後の諸情勢に即した中等學校の確立には到底達することは困難です

教育者も生徒も、そして家庭も、こんどの改正の前論を正しく摑んで、改めてその運營を檢討し、生きた人、生きた精神によつて、ぜひともそこに、新らしい生氣に充ちた教育の體制を育成していかなければなりません

われらの教科書はわれらの手で

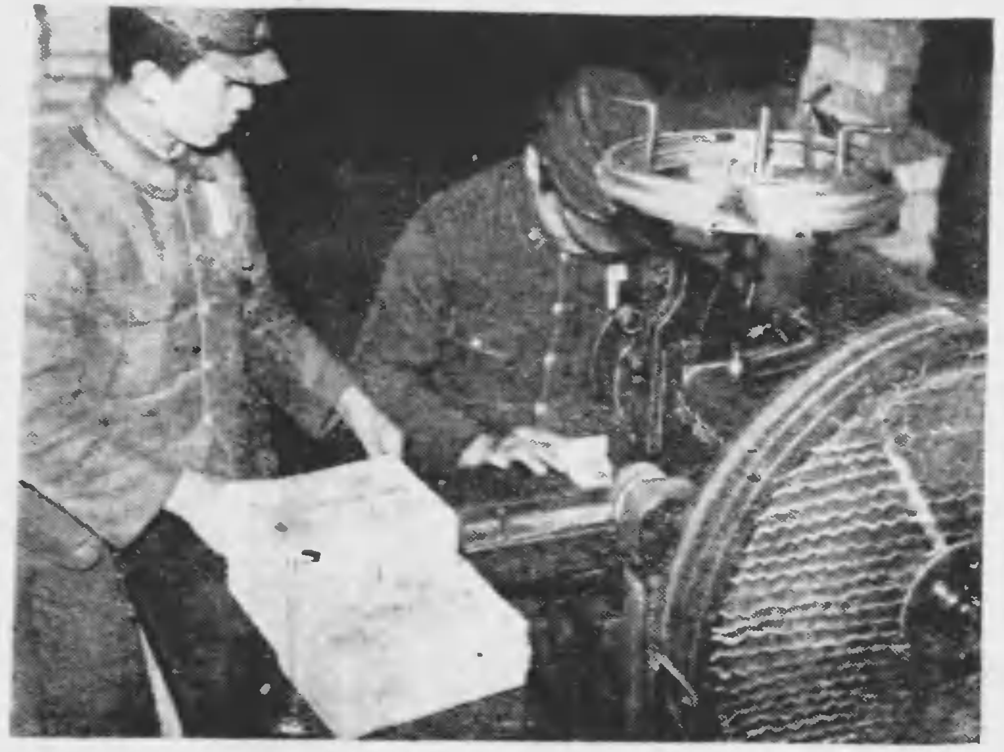
陽春の新學年から新制度に即應して、中等學校にも國定教科書が採用されることになつたが、人手不足の折柄『われらの教科書はわれらの手で』と、文部省圖書局の肝煎りで動員された都の中學校、工業學校、女學校の生徒たち延人員約六万名が、三月二日から四月十日まで新教科書の製作に一生懸命お手傳ひを續けてゐる

特殊技能をもつ工業學校生徒は、直接印刷工場に乘込んで印刷作業に從事すれば、女學生は刷上つた印刷物の折子にまはり、中學生は製本、整理、結束、運搬にあたるなど、一糸亂れぬ見事な奉仕ぶりをみせ、『一日も早く新教科書を全國のお友達へ』の心遣りも賴もしく、こゝにも決戰生徒の新年度にさきがけた逞しい修練の姿がみられる

⇨制服に身を包んだ女學生の折子となつた心構へだけは本職に負けてゐない

⇦絶え間なく輪轉機から流れ出る刷上りを手際よく整理してゆく

⇨馴れないとなか／＼難しい挿込み作業、生徒たちも頁を間違へないやうにと一生懸命



⇨、友達同士の協力で、針金綴さへなか／＼ほかにできない速度で進む

⇦刷上つた教科書の運搬にはお手のものの選手、人數が多いだけに能率がぐん／＼と上る

闘ふ婦道の赤十字

岐阜縣立本巣高等女學校

⇧ 赤十字の旗の下に、闘ふ婦道の[illegible]

この四月から、中學校も女學校も新らしい學制によつて、いよ〳〵皇國民として徹底した錬成が實施されることはご承知の通りですが、新らしい制度では、學科とともに行的修練が重視されることになつてゐます

これまでも各學校ともいろ〳〵の修練をやつてをりましたが、岐阜縣立本巣高等女學校では、闘ふ婦道の修練として、全校生徒をもつて赤十字班を結成し、スハ空襲といふ時には、一般負傷者の收容に、應急手當にと、救護方面を一手に引受けようと、擔架操法、應急救護等の課目を毎週水曜日の午後、懸命に訓練が進められてゐます。この愛と勇を必要とする逞しい婦道修練こそは、やがて母として、妻として、また國民の一人として、日本女性の務めを果すことに役立つことでせう

撮影　橋本　滿資

⇨ 上肢に副木の應急手當を熟練した

⇦ 煙の中を負傷者收容に

⇨ いざといへば砲火をくゞつても救護に飛び出さうと、待機する擔架部隊

⇦ 負傷者に應急手當をして擔架へ收容

新年度を機會に
消費生活を切りかへよう

増税はむしろよい機會

四月からいよいよ決戰の新年度がはじまります。増税關係の法律では、物品税、遊興飲食税、入場税の三つの改正税法が一と足さきに三月から實施されましたが、さらに四月からは殘りの増税全部が實施されますから、戰ふ國民生活の全般に亘つて消費の切り詰めが一段と要求されてきます。しかし、これも決戰體制に相應しくない贅澤を追放し、全面的に消費生活を切換へるために、寧ろよい機會を與へられたのではないでせうか

四月からの増税の主なものをみますと、まづ酒税があります。これは主に庫出税の引上げとして行はれ、税の總額では十割に上ります。また清涼飲料税も同じ程度の増税となります

次ぎに、こんど新設された特別行爲税といふのは、寫眞の撮影、整髪美容、織物衣類の染色仕立、書畫の表裝、印刷製本等の行爲に對して課せられるもので、或る一定の料金以上のものには印刷製本にはその料金の百分の二十、その他のものには百分の三十の税率で徴税されます

納税と貯蓄報國を兼ねた新施設

戰時財政が膨脹するにつれて國民の租税負擔が重くなることはやむを得ません。そこで、この負擔を容易に且つ確實にするため、四月から『納税施設法』といふ新制度が實施されます。その仕組としては、根本ある納税組合などに法的基礎を與へたこと、法人に對しては納税積立金の制度を設けたこと、納税資金として納税準備預金といふ新らしい預金をつくること、また戰時納税貯蓄といつて、税金の二倍、三倍の金額を貯蓄した人は二十年後または十二年後にその税金が納付濟になつた上、貯蓄額だけそつくり歸つてくるものなどがあります。つまり、納税と貯蓄の目的を兼ね備へた至極便利な仕組なのです。納税報國のため、この新制度を十二分に活用していただきたいものです

貯蓄新目標に突撃開始

昭和十八年度の國民貯蓄目標額が昨年より四十億圓多く、二百七十億圓と決定されたことは、ご存じない方はないと思ひます。この額は戰爭遂行上、絶對に必要な三百七十億圓から、租税その他の形で負擔される約百億圓を差引いた殘りに當るわけで、これだけはどうあつても、國民貯蓄の増强で賄はねばならないものなのです

ですから、この際、これまでのお互の貯蓄の方法についてもよく反省してみませう。そして、今までの消費を節約して貯蓄に廻す方法ではまだ不十分ならば、割り當てられた貯蓄をまづやりとげて、その殘りの分で消費生活を工夫するといふやうな消費面の決戰體制を確立することこそ、この『決戰の年』を勝ち抜く近道ではないでせうか

四月の常會

完璧の防空陣を固めませう

昨年の四月十八日は敵機の空襲があつた日です。今も敵はしきりに我が本土を狙つてゐます。そして、今後は二十キロ、五十キロの大型燒夷彈や爆彈が使はれるかも知れません。この際、警察署や警防團とも緊密に連絡し、完璧の防空陣を固めませう

（イ）防火用水は常に所定以上の水量を用意して置くこと

（ロ）特に指示のある地域では、屋内の待避所を指定された通り準備して置くこと

（ハ）その他の防空資材は必ず取揃へて、いつでも完全に使へるやう準備し、十分に訓練して置くこと

大いにヒマを蒔きませう

戰ふ荒鷲に無くてはならぬ潤滑油に事缺かせぬやう、ヒマを大いに蒔きませう。今年の收穫目標は、昨年の五倍です。昨年の經驗を生かし、栽培本數を増して立派に育てませう

種子の配布は （イ）家庭には部落會、町内會から隣組を通じて婦人會で配布されます（ロ）學校、青少年團、工場、鑛山、會社、事業場などには翼賛會の市町村支部から配布されます（ハ）なほ種子の配布がない場合は、翼賛會の市町村支部へ申込んで下さい

蒔き方は （イ）時期―四月の始めから半ばが好時期で、遲れても五月までですから、その地方によつて適當な時期に蒔くこと（ロ）場所―なるべく日當りのよい乾燥地を選び、連作を嫌ふから昨年作つた土地は避けること（ハ）基肥―なるたけ深くして堆肥、落葉、木灰などをませて施すこと（ニ）蒔き方―種子は一晝夜くらゐ水に浸して一ヶ所に二、三粒蒔き、あとで丈夫な苗を一本だけ殘すやうにし、一坪に三本または四本立とすること

軍人援護の萬全を期しませう

四月二十三日から二十九日まで『軍人援護精神昂揚運動』が實施されますから、次ぎのことに十分注意して、軍人の遺族・家族や、傷痍軍人を眞心から援護しませう

（イ）部落會、町内會、隣組では軍人の遺族・家族や、傷痍軍人などの援護に手落ちはないかとよく調べ、市町村や銃後奉公會と連絡して最善を盡すこと

（ロ）隣組では組内から出てゐる出征軍人へ自筆の『隣組便り』を出すこと

（ハ）靖國神社の祭典當日には、部落會、町内會、隣組の代表者は、靖國神社または護國神社、戰歿者の墓碑に參拜し、一般も努めて參拜すること

大東亞戰爭日誌

―三月―

五日 ●二月十六日以降三月五日までにソロモン群島およびニューギニア方面において帝國陸海軍部隊の收めたる戰果並びに我が方の損害左の如し

（一）戰果　飛行機擊墜百十三機、擊破十一機、潜水艦擊沈四隻

（二）我が方の損害　驅逐艦沈沒二隻、輸送船沈沒五隻、飛行機自爆及び未歸還七機

八日 ●帝國海軍航空部隊は八日東部ニューギニア方面において敵輸送船一隻（二千トン級）を擊沈、他の一隻を大破せり

十日 ●帝國海軍部隊は十日ソロモン群島の我が航空基地に來襲せる約六十機の敵機中、その十一機を地上砲火により擊墜せり。我が方の損害輕微

十一日 ●帝國海軍航空部隊は三月十一日ニューギニア島東部の敵航空基地を攻擊し挑戰し來れる敵戰闘機十八機を擊墜せり。我が方の損害、自爆及び未歸還二機

●帝國海軍部隊は三月十一日鳴神島に來襲せる約三十機の敵機中、その三機を地上砲火により擊墜、他を擊退せり。我が方損害輕微

●帝國海軍部隊は三月六日より同十一日までに敵潜水艦六隻を擊沈せり。この間我が方の損害、船舶二隻沈沒

十五日 ●帝國海軍航空部隊は三月十五日ポート・ダーウィンの敵軍事施設を攻擊、これに多大の損害を與へ、なほ敵三十數機と交戰、その十六機を擊墜せり。我が方の損害、未歸還一機

四月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

一日▽第十一回彈丸切手賣出

三日▽神武天皇祭・

四日▽愛林日　戰ひと[illegible]の資源、森林を愛護しませう

七日▽愛馬の日　軍事上、産業上の無言の戰士を勞はりませう

八日▽大詔奉戴日　決戰生活に徹しませう

十五日▽水産日　水産報恩および魚の供養をいたしませう

十七
十八日▽少年保護記念日

二十日▽遞信記念日　郵便屋さんに感謝しませう

廿三日▽二十九日まで軍人援護精神昂揚運動　前線の勞苦を偲んで銃後の護りを固めませう

廿五日▽二十八日まで靖國神社臨時大祭

廿九日▽天長節

⇧ 私達の[illegible]

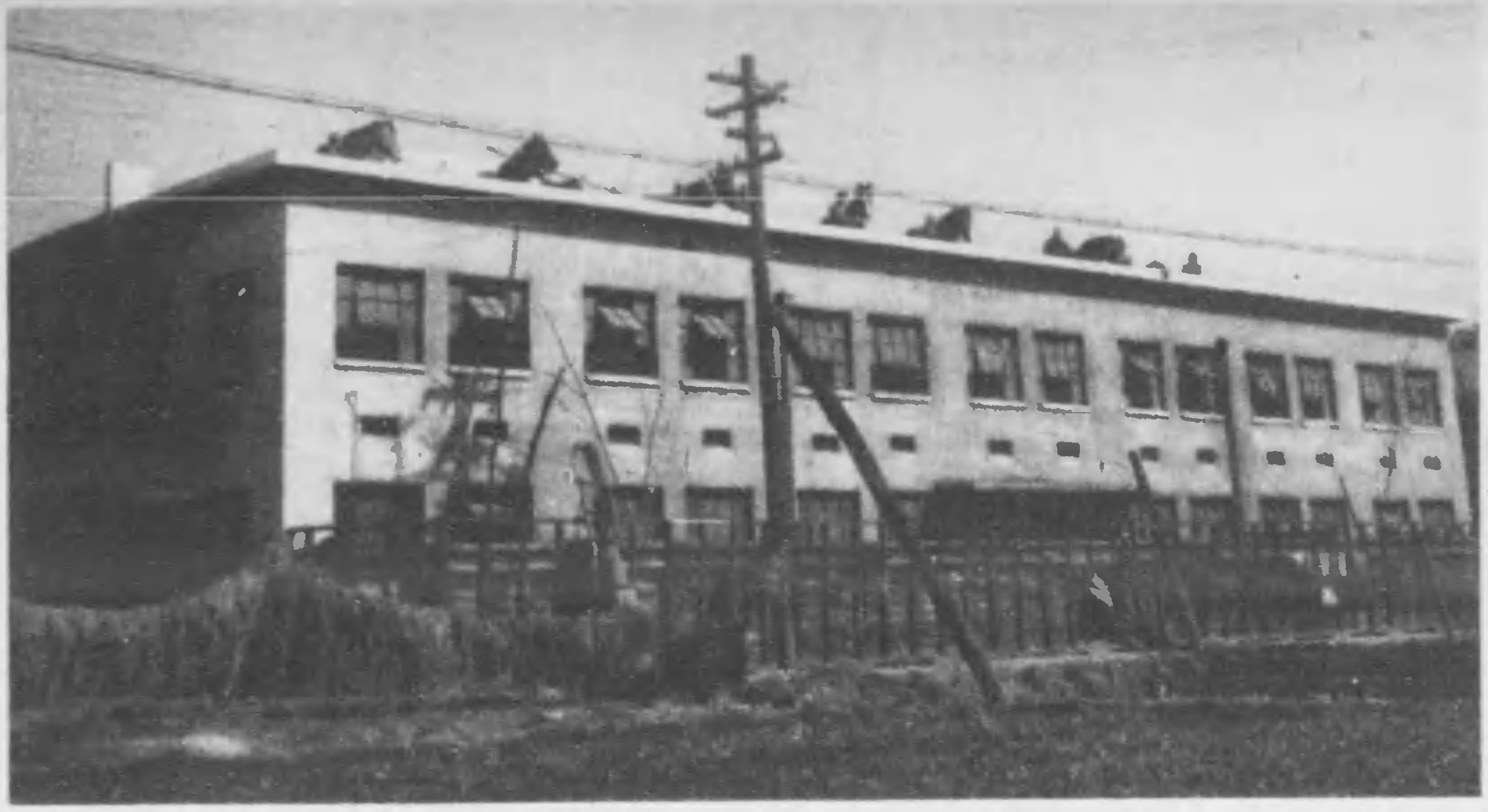
まあ隣組の畑も[illegible]料です。黒土の匂ひがぷんと鼻をうつ四月、馬鈴薯も植ゑられました。大根も蕪も。まあ一つ私達の畑でも増産といきませう

撮影　飯　敏

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

お召があるまで鍛へる軍用保護馬

四月七日——愛馬の日



⇨瀟洒な輓馬共同厩舎

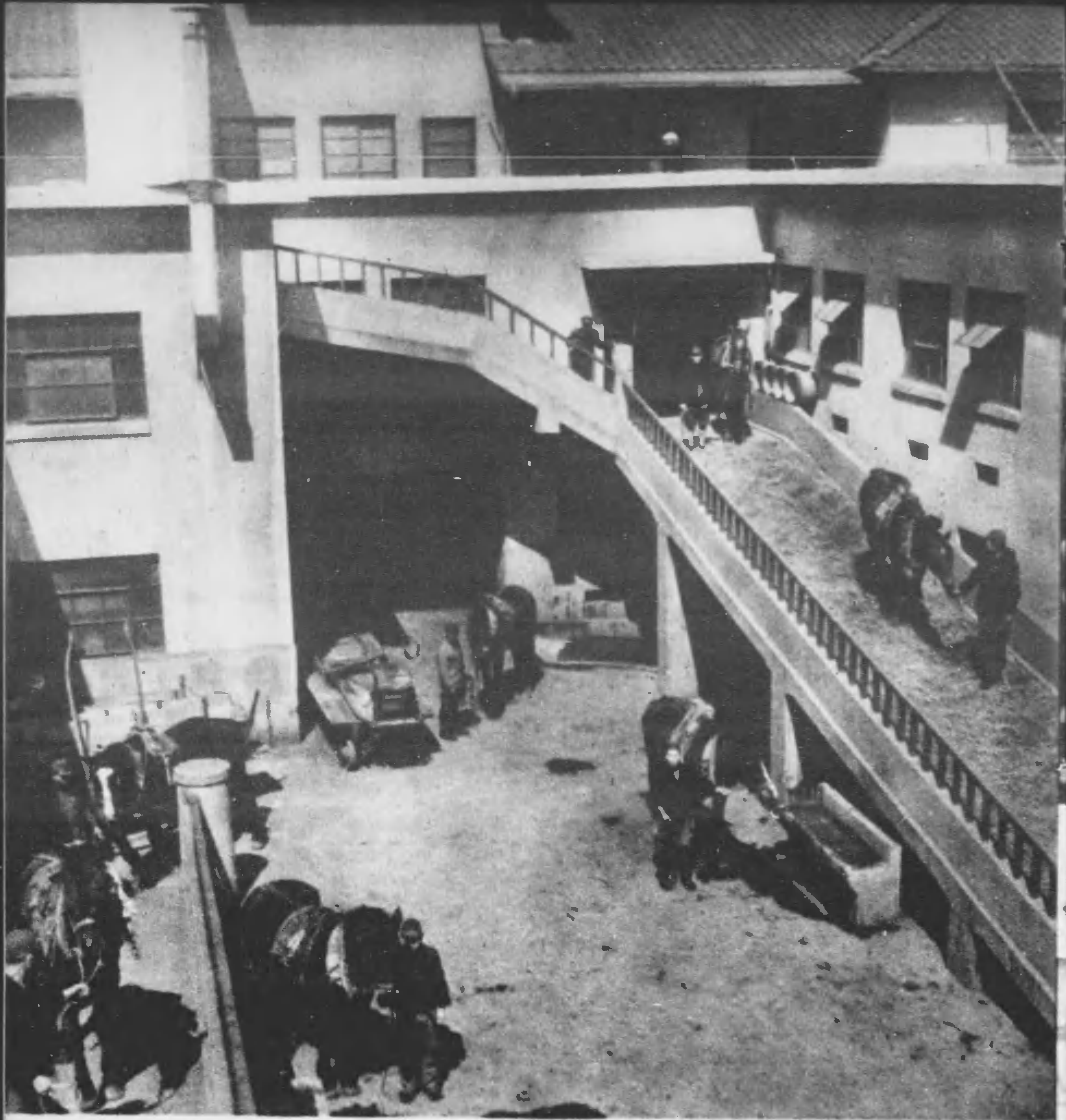
⇧厩手たちは屋上の馬頭観世音に馬の無事を祈つて仕事に出かける

「戦ひに勝つ」ためにわたし達一億國民は戦線、銃後の別なく、あらゆる力を絞つて體當りに出てゐますが、戦野にあつては物いはぬ戦士として数々の武勲を樹てる軍馬もまた銃後にあつては軍需物資の輸送に大馬力をかけてゐます

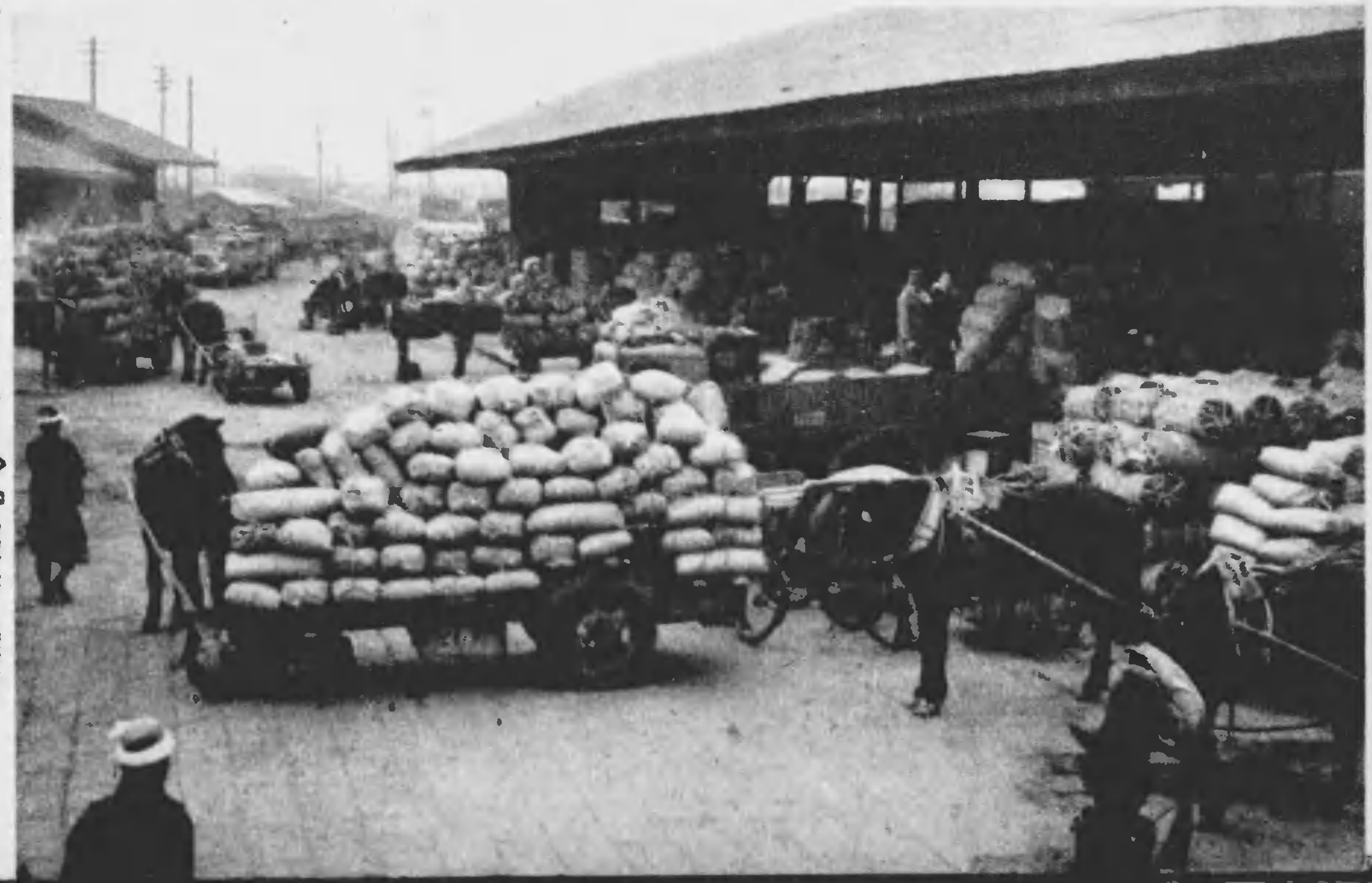
大阪府東淀川共同厩舎の輓馬（軍用保護馬）は瀟洒なアパートといつた感じのする二階家に住んで、軍用保護馬としての基本訓練を受けながら、埠頭を埋める資材や工作機械その他、お米、炭などといつたやうな軍需物資の運搬に當つてゐます。かうして戦時下の輓馬は働きながら、いつお召があつても軍馬として立派な御奉公ができるやうに普段に鍛へてゐます

四月七日は愛馬の日です。『可愛い子には旅させろ』の譬もある通り、馬を可愛がるのには先づ馬と仲よしにならねばなりませんが、可愛い馬ならこそ労はりながら働かせて鍛へませう

撮影　中藤　敏



⇦二階住ひの馬は階段を上下する



埠頭に山なす物資も何んのその、輓馬は汗ダクで港湾輸送に一役買ふ⇨

⇦馬場で受ける基本訓練

⇦仕事から帰つた馬は厩番が心盡しのおいしい馬糧を目を細めて食べる

⇦お厩舎へ入れば疲れがさらりとするやうに、お馬は馬洗所で一日の疲れをいやす

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

明るく戦はう（二）寫眞週報 農機具巡回修理班に逢ふ

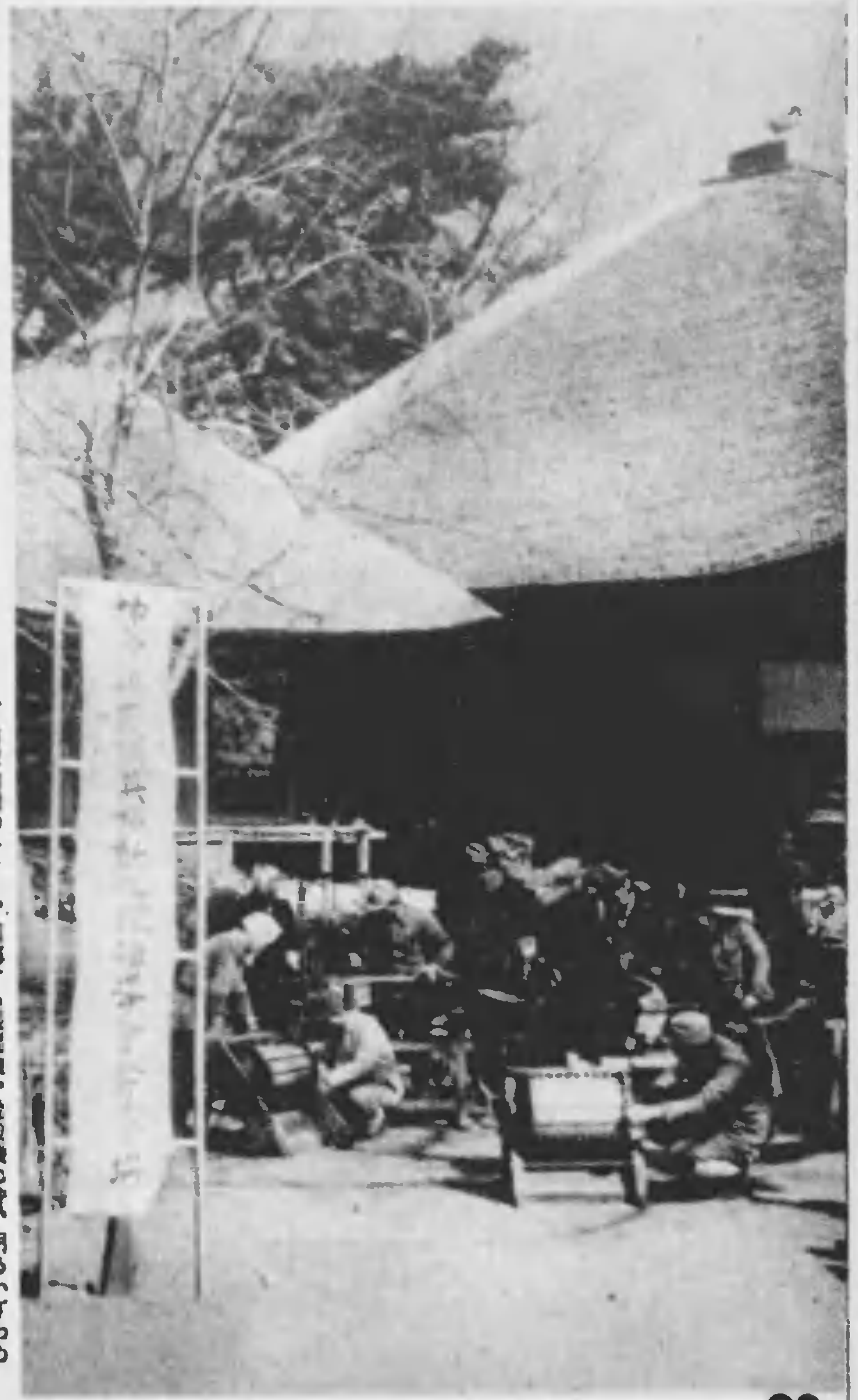
「んだ、明日は俺ッちの製繩機も持つてつてみべえよ」修理班來るのとうに、機械がこはれていら／＼してゐた人達の氣持が急に明るくなつた、春の陽のやうに

何が足りない、かにが不足だ、これではいくら増産したくたつて……等々とぶつくさ不平をいふ暇に、「俺も一つ明るく戦ふべえ」と戦時下の農村から新規購入困難になつた農機具の不足を明るく吹つとばして、せつせと増産に敢闘してゐる農村がある

まもなく春の農繁期に入らうとする前の或る一月、神奈川縣中郡金目村役場前の廣場に春の陽を浴びて製繩機や脱穀機や、さては發動機や動力籾摺機までがどん／＼運び込まれてゐた。『農機具巡回修理班』がやつてきたのだ。これまでに對して約三割近い農機具の配給減、しかも人手はへつてます／＼機械力にたよらなければならない現下の情勢を何んとかして切りぬけて、増産目標に達しようとして考へられたのが遊休機具活用と破損修理だ。そこで縣農務課と縣農會の音頭取りで生れたのがこの農機具巡回修理指導會だ

縣農機具協會員の協力奉仕を得て、一班五名、六班を組織して、春秋二回農繁期前の縣下農村を廻り、農村の人々の感謝のうちに増産へ明るい助力増強をつゞけてゐる。今日も、買つてから二十五、六年にもなる古機具をはじめ、約半數の遊休機具を含む五十餘臺の破損機具が修理されたのだつた

埃を拂はれ、銹を落され、傷ついた箇所を治してもらつた機具達は、修理班員のよく廻つてくれよ、と差す潤滑油の匂ひに胸をどらせながら、久々に快適の調子で回轉するのだつた。病癒へた愛兒の元氣な姿でも見守るやうな持主や修理班員に見守られながら



石油發動機のひゞき、回轉する製繩機や脱穀機の音、明るいざわめきのうちに、運び込まれた破損農機具はどし／＼と修理されてゆく

修理班員の指導でお百姓も複雜な石油發動機の分解修理の知識を深めてゆく

「お婆さんも行くだかね」
「製繩機が一寸工合惡いもんだでなあ」

「調子がよかんべえ」修理成つて快い調子で回轉する石油發動機に、持ち込んできたおつさんの顔が明るく笑ひくづれる

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
www.jacar.go.jp

全國に擊ちてし止まむの意氣展開

雪をも融かすこの赤誠　豐原市　打越留男

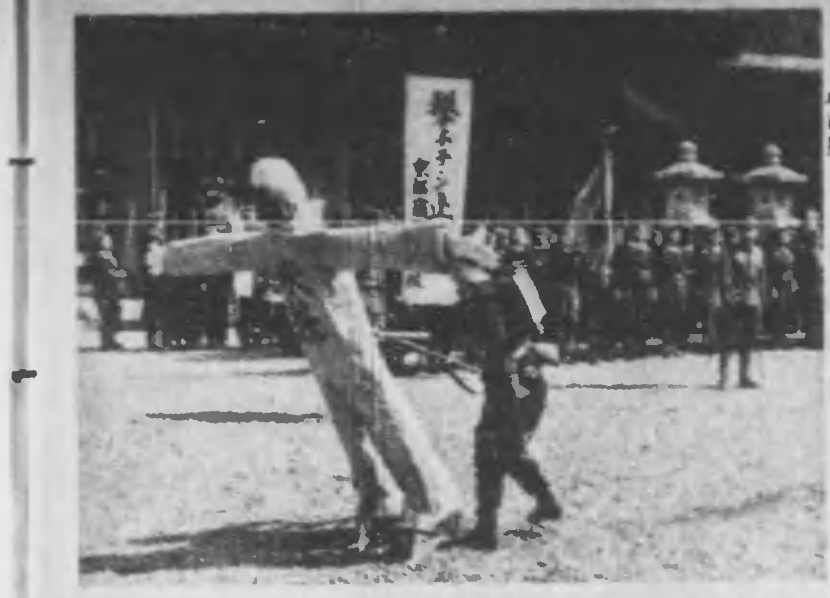
雪の樺太にも擊ちてし止まむ闘魂は爆發し、子供も起つて隣組の献金滿奉仕に、戰勝祈願に、或ひは慰問袋の作製に北の赤誠を示して、勝利の記念日を飾りました

白衣勇士の雪合戰　旭川市　田中英子

旭川陸軍病院の白衣の勇士たちは、この日白衣の天使とともに紅白二組に分れ、一發必中の雪合戰に擊ちてし止まむ決意を昂揚しました

白衣天使の猛訓練　長野市　酒井勝太郎

日赤長野支部の救護看護婦さんたちは、第一線で兵隊さんと一緒に頑張つてゐる先輩に負けじと、晴れのお召の日に備へて、この日市内裾花川で難路運搬の猛訓練を行つた



女學生の武裝行進　京都市　小西美代子

全校生徒三百餘名、いづれも銃を執り薙刀をひつさげて護國神社に參拜、米英偶像の藁人形に銃劍刺突の奉納を行つたのち、堂々市中に擊ちてし止まむ大旆を押し進める京都商業女學校の武裝部隊

港都より米英色を一掃　長崎市　波路勳

長崎市貿易壯年團の呼びかけに、擧て！米英と集積された米英色の寫眞、音盤などは夜に入り諏訪神社の中庭で御神火によつて悉く燒却された

鬼畜米英を打ち倒せ　熊本市　岡田政弘

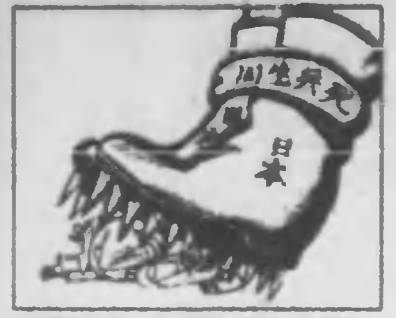
鬼畜にも等しい米英兵のやり口を先生からお聞きするたびに、幼な心にも憤慨やるかたなく、熊本市花園國民學校の兒童たちは父兄會で作つてもらつた敵兵の藁人形を校庭にも ち込んで、木劍、薙刀等で代る〲これに痛擊を加へ、小さいながらも溜飲を下げました

★表紙

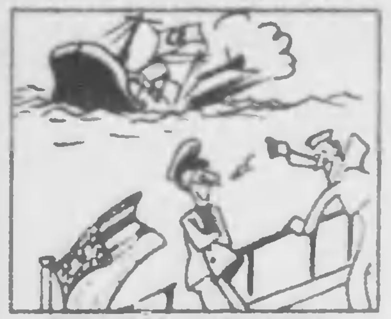
三月十八日午後二時、遠い南の空から飛んできた特別仕立の飛行機からバーモビルマ行政府長官一行は、輕やかににこやかに憧れの日本の土の上に降り立つた。東京空港である。出迎への人たちの眼に珍しいバーモ長官の衣裳（頭布）、紺の上衣、白地に紫の模樣のあるロンギー（袴）が春風にひら〱吹かれながら近づいてきた

大東亞戰爭漫畫日誌

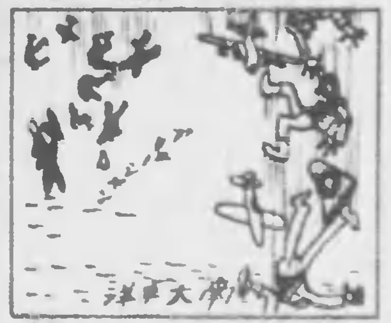
石川進介



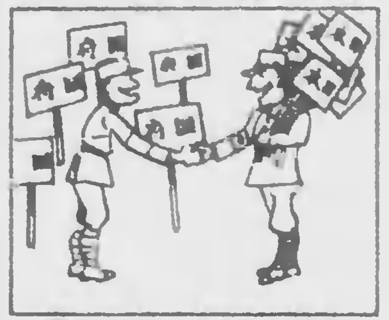
日暹手を握り足並揃へ米英擊滅



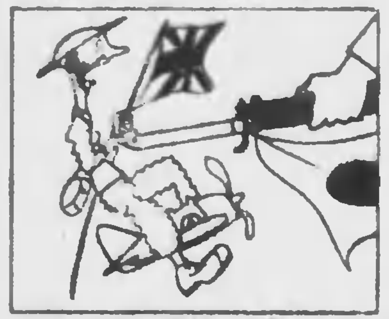
米潛水艦又もソ聯船を擊沈



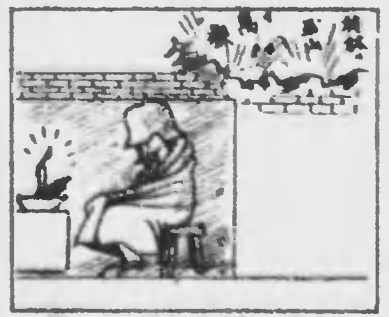
海鷲の荒鷲　南北の海で大戰果



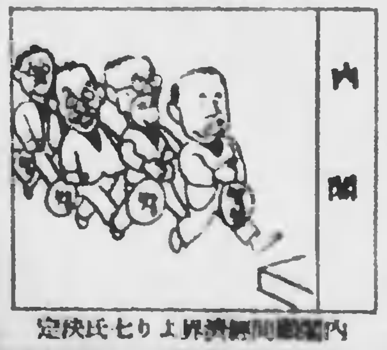
租界の諸施設を無償で移讓



ビルマ英國の敗殘が好餌となる



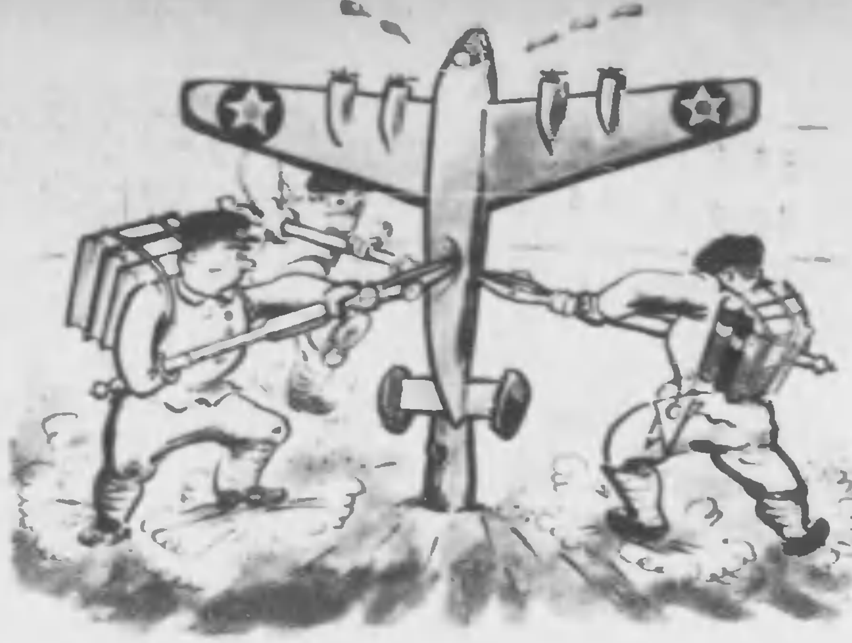
重慶の蔣[illegible]又も大空襲



內閣顧問經濟界より七氏決定

照準器

戰時下學生氣質

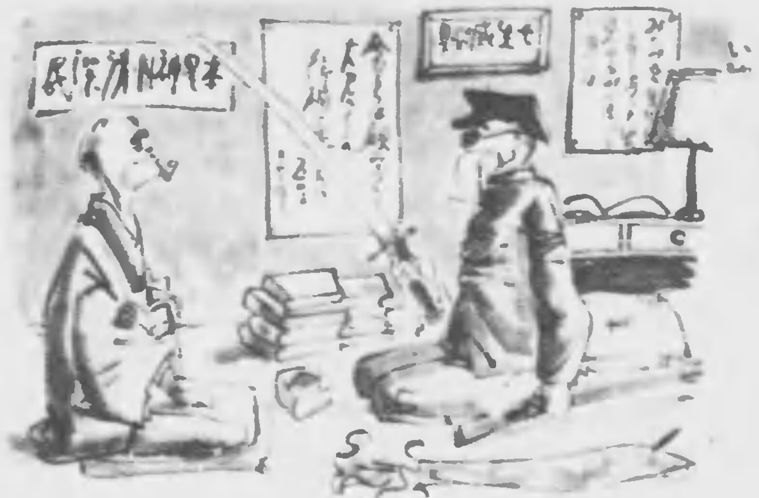


科學技術學生の意氣　杉柾夫

「畜生、米英の技術に負けてたまるものかッ」

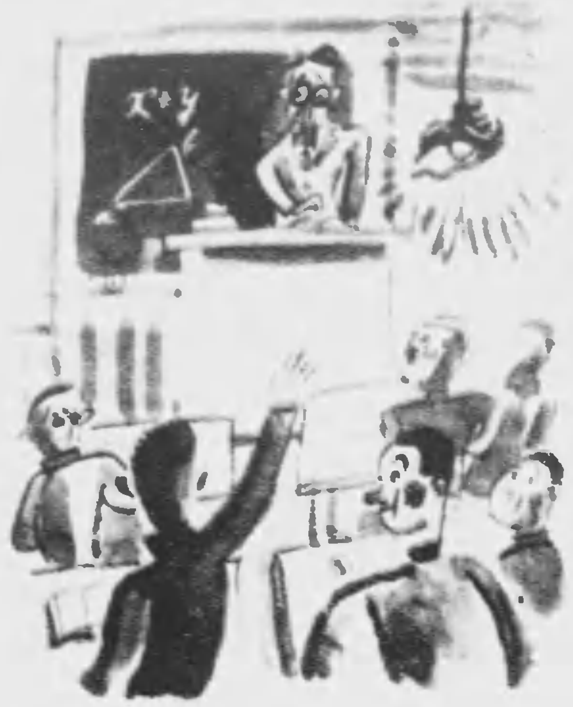
夜學生も心意氣　榎本映一

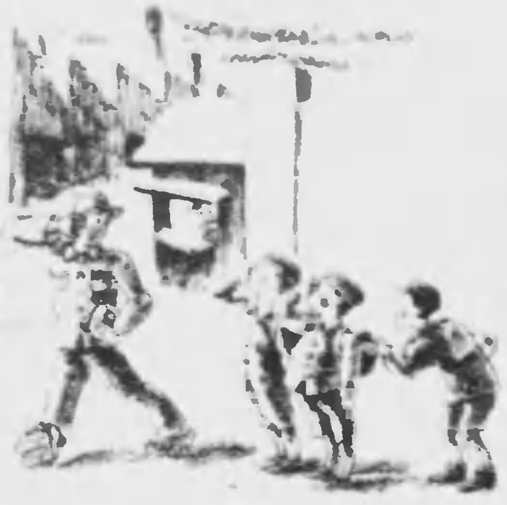
「先生！ ぼくらもつと暗くても大丈夫です。電氣が大切ですから電燈をも一つ減らして下さいッ」



眞劍勝負で勉強せい　森脇弘

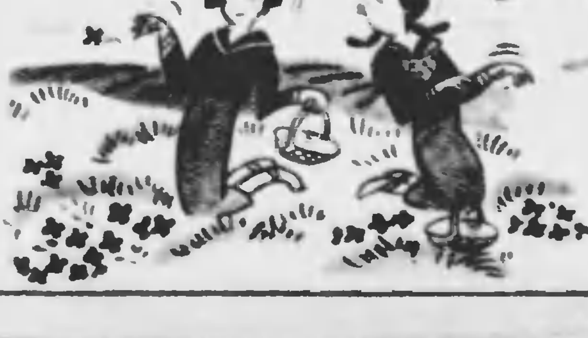
「家傳のこの寶刀はお前が出征のときに渡さうと思うたが、今から右に置きなさい。學生の勉強も戰鬪だ。[illegible]。この劍もつ氣でペンをとりなさい」





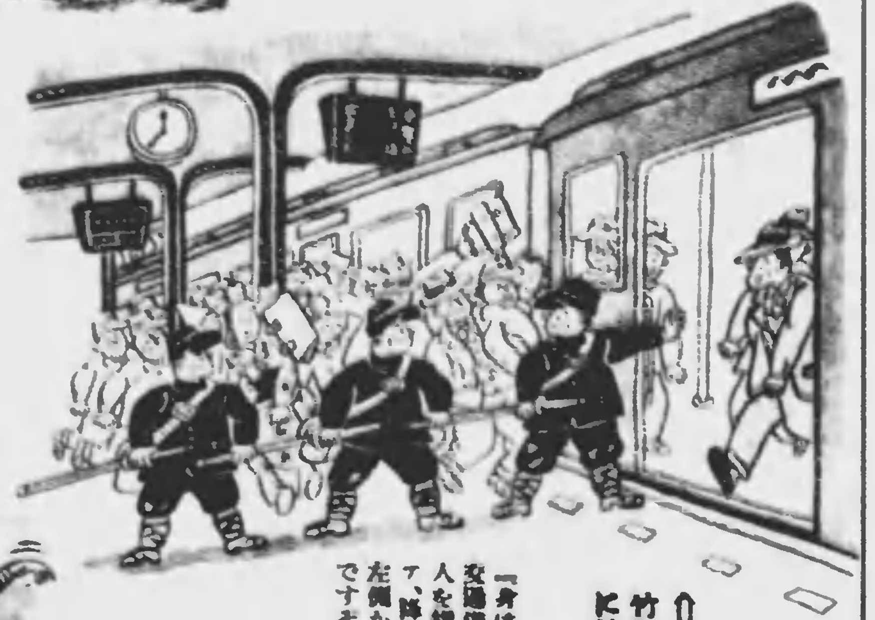
校門は工場の門に通ず　南義郎

「君、あの人知つてるのかい」「うゝん、知らないけれど、ぼくたち卒業したらこの工場でうんと働きたいと思つてるんだもの、兄弟子だよ」



[illegible]　秋玲二

「アーラいやだ。食用野草を摘みにきたのに、四つ葉のクローバなんて、つまんないのがやたらに生えてるのねえ」



竹刀はタテに持たない　小泉榮郎

「身は中學生でも交通道德を忘れた大人を指導するぞ。さア、降りる人が先だ。左側から順に乘るんですぞ！」

寫眞週報　昭和十三年二月十六日第三種郵便物認可　昭和十八年三月卅一日發行（毎週一回水曜日發行）第二百六十五號

彈丸切手

1枚2円

第11回賣出

4月1日→15日

抽籤日

4月20日

割增金

1等	1000円
2〃	100〃
3〃	5〃
4〃	2〃

當籤率

11枚ニ付1枚ノ割合

抽籤の濟んだ切手は五枚以上まとめて郵便局へお差出しの上、特別据置貯金證書と引換へて下さい。

寫眞週報（禁轉載）

昭和十八年三月卅一日　印刷發行

編輯者　情報局　東京市麹町區永田町一ノ一

印刷者
發行者　内閣印刷局　東京市麹町區大手町

定價

一部十錢（送料一錢）

（外國郵送に依る地域は送料共一部十九錢）

▲豫約配送御希望の方は一部十一錢（送料一錢）の割合を以て前金を添へ御申込み下さい

▲特大號の場合は其の都度御拂込金より差額を申受けます

申込所

全國各地官報販賣所
書店・驛賣店
新聞販賣店
寫眞材料店

前線慰問に本誌を

お讀みになつたら本誌を前線慰問に送りませう。送料は内地と同樣で帶封あるひは開封にして第三種と明記すれば、一部一錢です

内閣印刷局印刷發行

（[illegible]・A4判[illegible]）